【膝関節側副靭帯損傷 診察】

問 1. 膝関節内側側副靭帯損傷の所見はどれか。

(第 28 回)

1. 軋轢音が著明である。
2. 内側に限局した圧痛を認める。
3. 嵌頓症状を認める。
4. 内反動揺性が出現する。

問 2. 膝関節側副靭帯損傷の検査法はどれか。

(第 28 回)

1. ラックマンテスト
2. 牽引アプライテスト
3. マックマレーテスト
4. 前方引き出しテスト

問 3. 膝内側側副靭帯単独損傷時の外反ストレステスト陽性所見はどれか。(第 29 回)

1. 握雪音
2. クリック
3. サグサイン
4. 関節裂隙の開大

問 4. 膝関節側副靭帯損傷でみられるのはどれか。

(第 30 回)

1. 側方動揺性
2. 嵌頓症状
3. 膝崩れ
4. 軋轢音

問 5. 靭帯損傷の検査はどれか。(第 31 回)

1. 膝蓋骨グライディングテスト
2. 牽引アプライテスト
3. マックマレーテスト
4. トーマステスト

問 6. 膝関節内側側副靭帯損傷で正しいのはどれか。

(第 32 回)

1. 嵌頓症状
2. 外反動揺性
3. 膝後面の疼痛
4. 前方引き出し陽性

問 7. 膝関節側副靭帯の第 I 度損傷で正しいのはどれか。(第 33 回)

1. 機能障害は生じない。
2. 靭帯線維の微小損傷である。
3. 膝関節伸展位で側方動揺性がみられる。
4. 膝関節屈曲 5 度で側方動揺性がみられる。

問 8. 膝関節内側側副靭帯損傷の検査でないのはどれか。(第 33 回)

1. グラビティテスト
2. 外反ストレステスト
3. グラスピングテスト
4. 牽引アプライテスト

問 9. 膝関節側副靭帯損傷について正しいのはどれか。

(オリジナル問題)

1. 外側側副靭帯損傷の発生頻度が高い。
2. 内側側副靭帯損傷は単独損傷が多く、合併損傷は少ない。
3. 受傷時は断裂音 (POP 音) を聴取することがある。
4. 応急処置は膝関節 90° 屈曲で固定する。

問 10. 腹臥位で行う膝関節側副靭帯損傷の検査法はどれか。(オリジナル問題)

1. トンプソンテスト
2. 側方動揺性テスト
3. 牽引アプレイトテスト
4. 前方引き出しテスト